



みーとらんすぱれんたー
MI-Transpenterの使い方

目次

インストール・アンインストール	2
(1) 使える環境	2
(2) インストール	2
(3) アンインストール	2
使い方	3
(1) 基本的な使い方	3
透過色を指定	3
左上隅の色を透過色として使用する	5
(2) 一括変換	5
ファイル指定	5
フォルダ指定	6
(3) 減色する	7
標準機能で減色する（ディザ減色）	7
他のソフトで減色する	8
設定	9

※ 各スクリーンショットや手順は Windows 7 環境に合わせて作成しています。 ※

Created by Mimi (みみー)

インストール・アンインストール

(1) 使える環境

.NET Framework 2.0 以上がインストールされている Windows パソコンでご使用いただけます。

Windows Vista や Windows7 なら最初からインストールされています。

Windows XP の場合、Windows アップデートでインストールすることができます。

実際の動作確認は Windows7 でのみ行っていますが、Windows XP や Windows Vista などでも動作するはずですが。

(2) インストール

ダウンロードした ZIP ファイルを解凍すると「MI-Transparenter」というフォルダができますので、任意の場所においてください。

(3) アンインストール

「MI-Transparenter」フォルダを削除します。

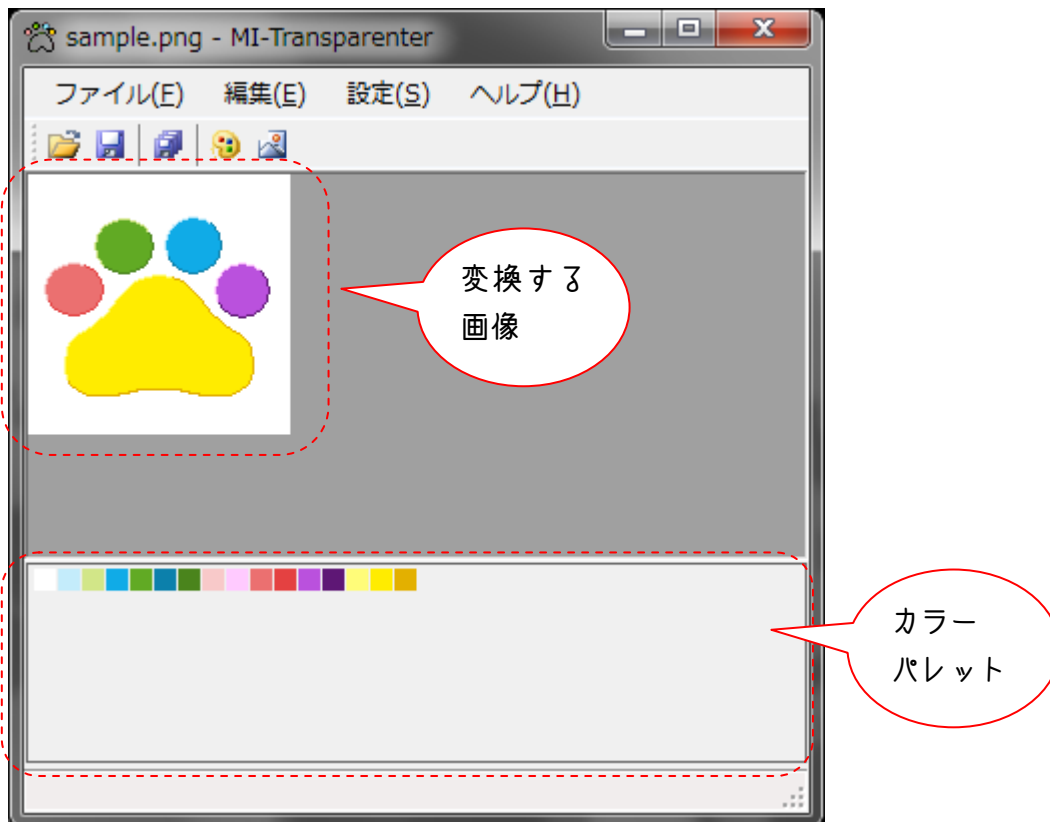
使い方

(1) 基本的な使い方

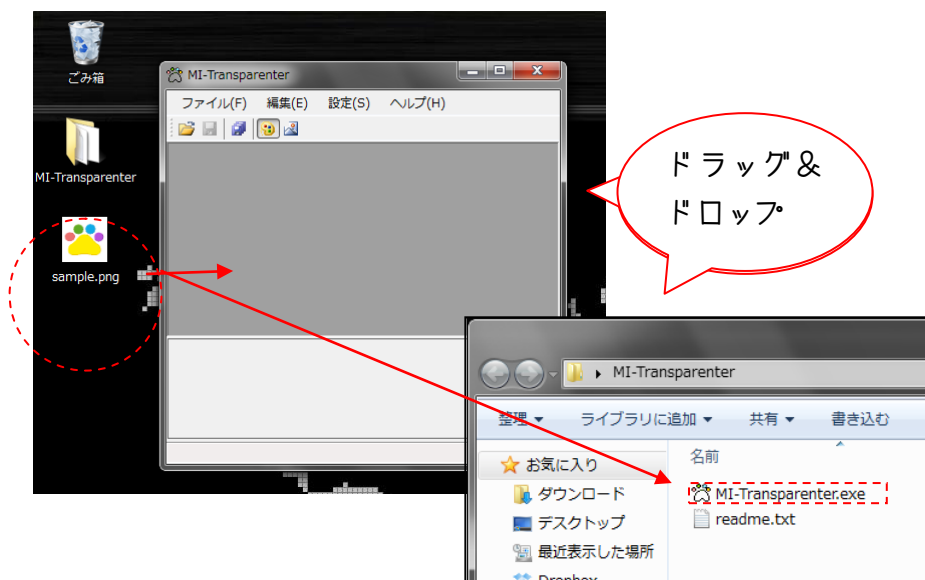
透過色を指定

1. 「MI-Transparenter.exe」をダブルクリックしてMI-Transparenterを起動します。
2. メニューの「ファイル」→「開く」をクリックし、ダイアログから透過 GIF に変換したい画像を選択します。

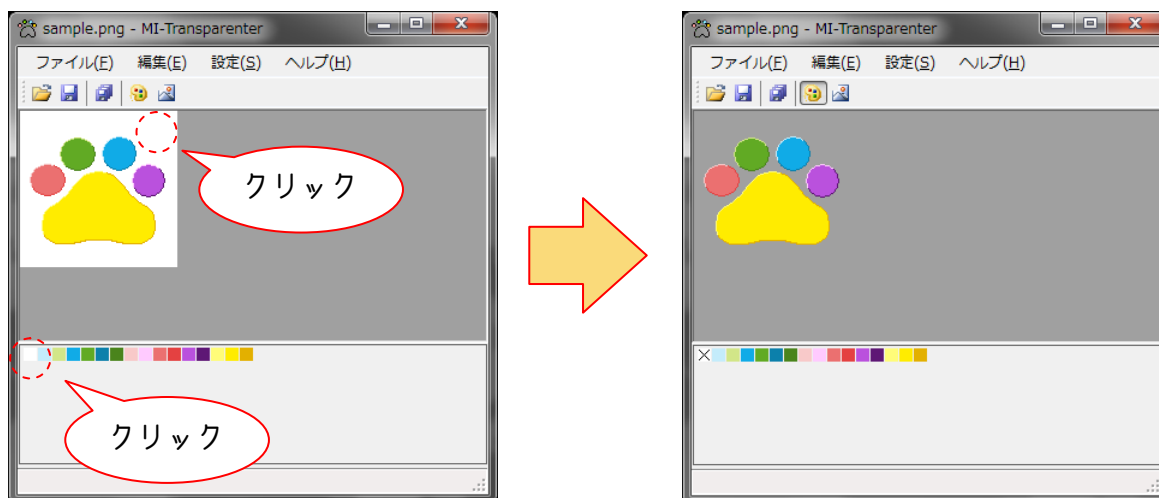
選択した画像と、画像に使用している色のパレットが表示されます。



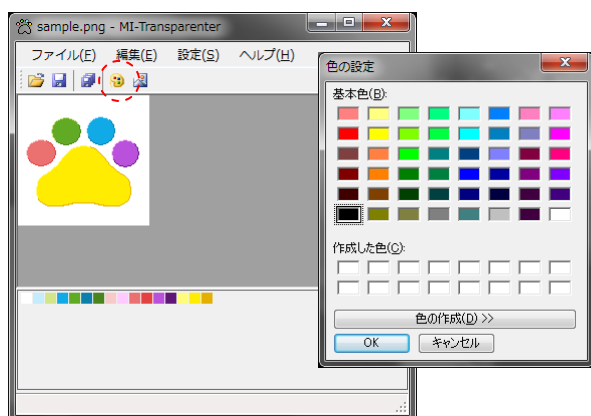
※ 画像ファイルをアイコンやウィンドウにドラッグ&ドロップしても開けます。



3. 画像またはパレットの透過させたい色をクリックします。画面上で画像が透過され、パレットの該当する色に×印が付きます。



※ メニューの「ファイル」→「透過色を選択」またはツールバーのアイコンをクリックすると、カラーダイアログから色を選択できます。



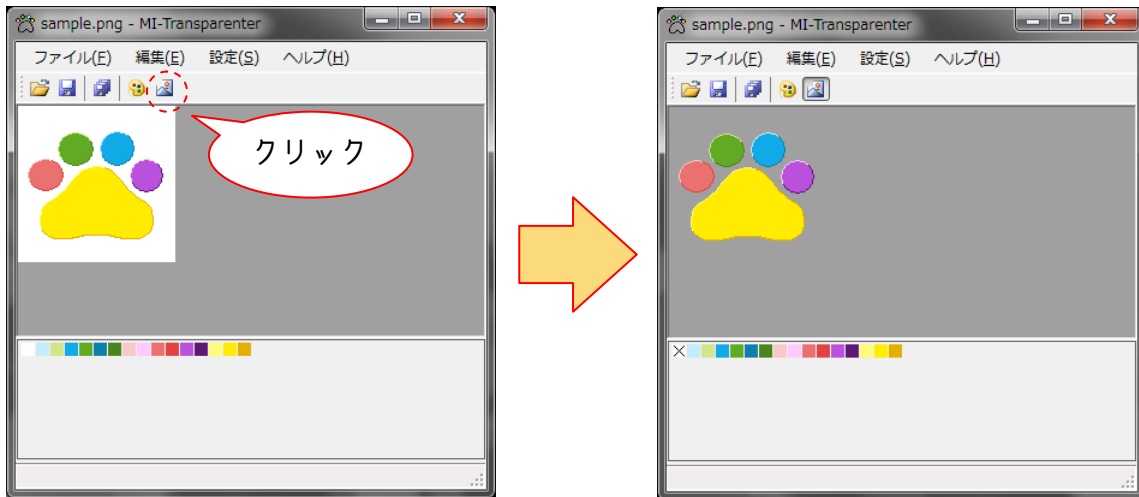
※ 再度他の色を選択すると透過色を変更することができます。

4. メニューの「ファイル」→「名前をつけて保存」をクリックし、ダイアログで保存先を指定します。



左上隅の色を透過色として使用する

1. MI-Transparenter を起動し、画像を開きます。
2. メニューの「編集」→「左上隅の色を透過色として使用する」をクリックしてチェックします。
または、ツールバーの「画像の左上隅を透過色に設定」ボタンをクリックします。
左上隅の色で画像が透過され、パレットの該当する色に×印がつきます。



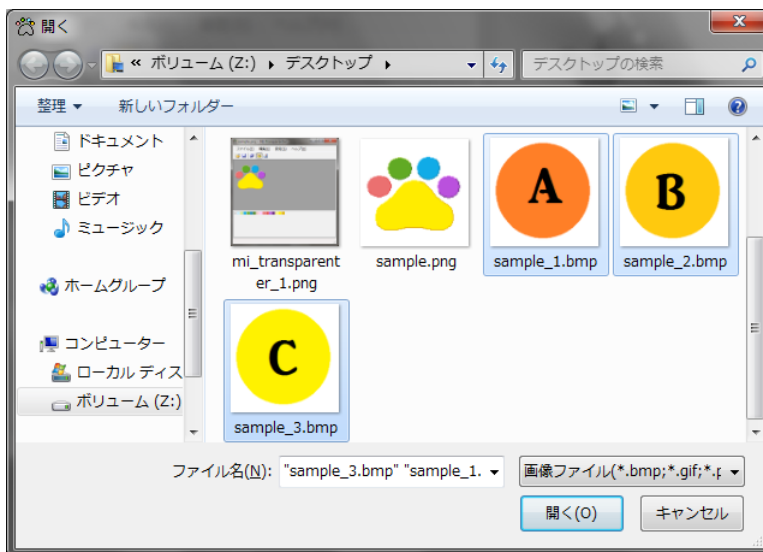
※ もう一度クリックすると透過が解除されます。

3. 画像を保存します。

(2) 一括変換

ファイル指定

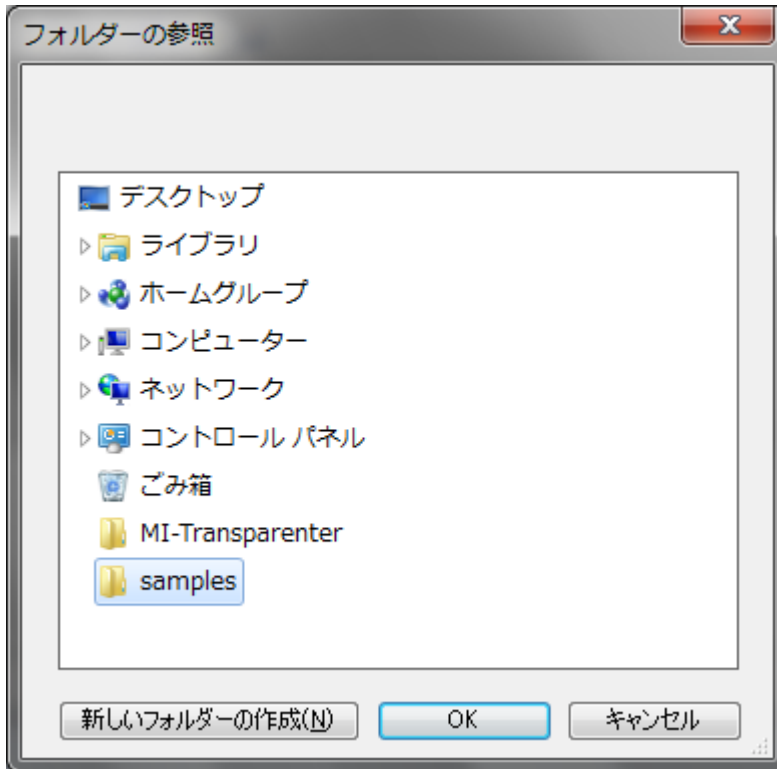
1. MI-Transparenter を起動し、事前に透過色を指定しておきます。
2. メニューの「ファイル」→「開く」をクリックし、ダイアログから透過 GIF に変換したい画像をすべて選択し、開きます。Shift キーや Ctrl キーを押しながら選択すると複数選択できます。



3. 変換完了メッセージが表示されます。変換後の GIF ファイルは、画像と同じフォルダに作成された「gif」フォルダの中に格納されています。

フォルダ指定

1. MI-Transparenter を起動し、事前に透過色を指定しておきます。
2. メニューの「ファイル」→「フォルダから一括処理」をクリックし、ダイアログから透過 IGF に変換したい画像が入っているフォルダを選択し、「OK」をクリックします。



3. 変換完了メッセージが表示されます。変換後の GIF ファイルは、画像と同じフォルダに作成された「gif」フォルダの中に格納されています。

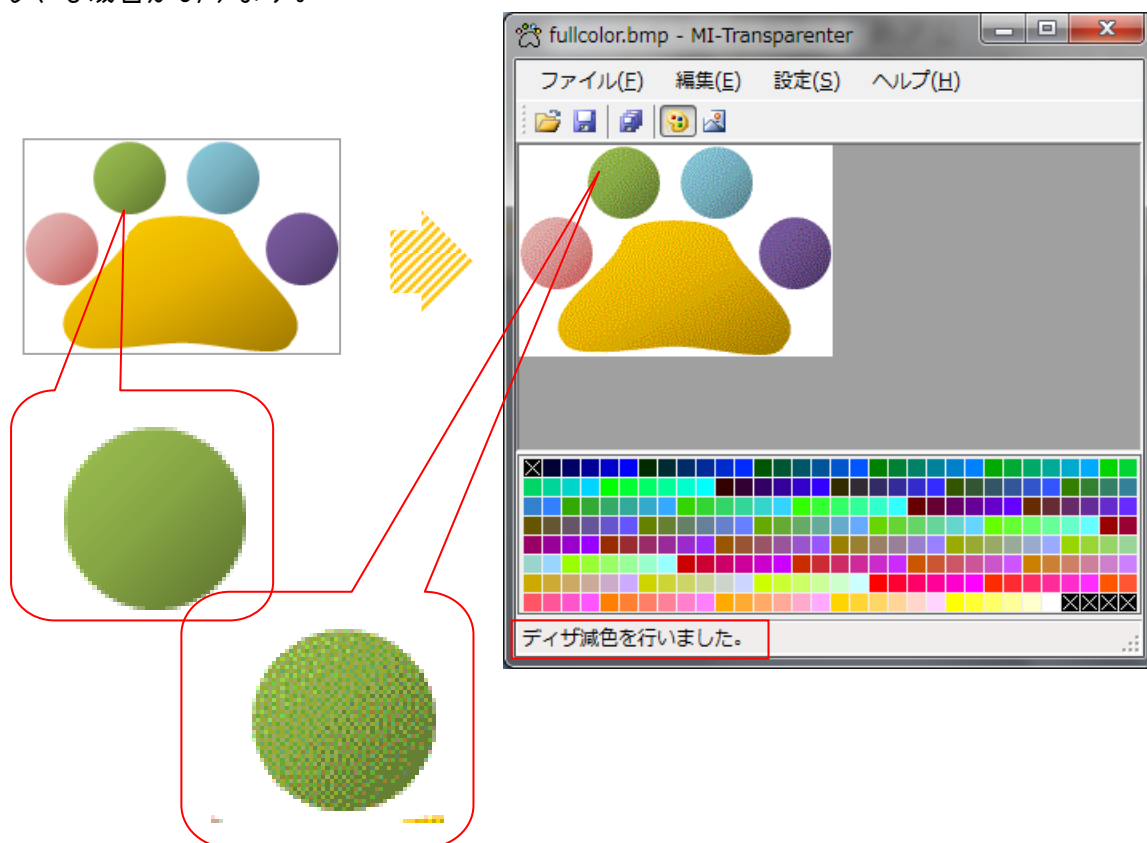
(3) 減色する

標準機能で減色する（ディザ減色）

256色以上使用した画像を変換すると、自動でディザ減色を行い、ステータスバーにメッセージを表示します。

ディザ減色をすると、下図のようにサラサラした見た目になってしまいます。

次項で紹介するような減色ソフトを使用すると、あまり見た目を変化させずに減色することができます。



他のソフトで減色する

フリー・シェア問わずさまざまなソフトで減色することができますが、本項では「Padie」というフリーソフトで減色する手順をご紹介します。

なお、Padieは「みみー」作成したソフトではないため、質問・苦情の類はご遠慮ください。

1. 下記 URL から padie35.zip をダウンロードし、解凍します。

URL: <http://www.vector.co.jp/soft/dl/win95/art/se063024.html>

2. padie.exe を起動します。(バージョン情報が表示されるので「OK」で閉じます)
3. メニューの「ファイル」→「開く」より、ビットマップ形式のファイルを選択します。減色したい画像がビットマップ形式でない場合、Windows 付属の「ペイント」を使用し、24 ビットマップ形式で保存してから Padie で開きます。
4. メニューの「編集」→「減色」を選択し、減色設定ウィンドウを開きます。
5. そのまま減色設定の「OK」をクリックします。
6. 減色後の画像ウィンドウが表示されます。
7. メニューの「ファイル」→「保存」より、任意のファイル名で保存します。元の画像ファイルを上書きしないよう注意してください。

以上で減色完了です。7で保存した画像を MI-Transparenter で GIF 画像に変換してください。

設定

1. パレットの変更を許可

チェックが ON の場合（初期選択）

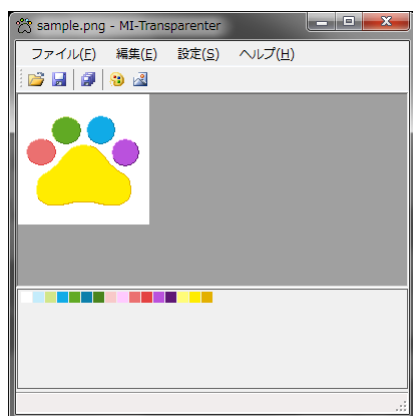
保存時に、画像に使用している色を元にパレットを再作成します。

チェックが OFF の場合

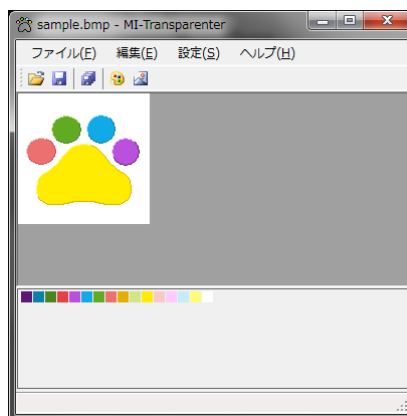
他のグラフィックツール・減色ツールで作成した画像や GIF 画像などで、すでにパレットが保存されている場合、そのパレットに透過色を設定します。そのためパレットの色の並び順が変わりません。

パレットが保存されていない画像は変換できません。

MI-Transparenter で作成したパレット



Padie で作成したパレット

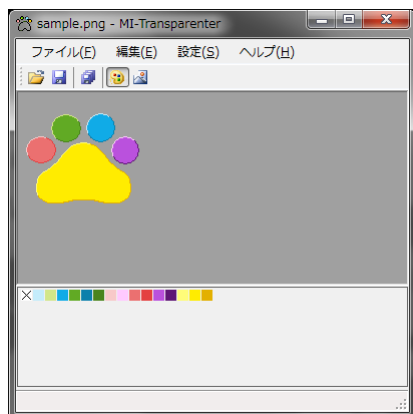


2. 保存された透過色を復元する （未整理）

3. 選択した透過色を共通で使用する （未整理）

4. 透明部分の表示

無地



格子柄

